われわれは遺族の相互扶助、道義の高揚につとめ、平和日本建設に寄与し、戦争の防止、世界恒久平和の確立を期するを信条とする。

いさお新聞

発行所　〒703-8272 岡山市中区奥市3-22 岡山県遺族連盟
電話代表　086-271-7175
ＦＡＸ　086-271-4815
郵便振替岡山01230-9-3532
発行責任者　岸本清美
編集責任者　豊島始男
印刷所　西尾総合印刷株式会社
定価（郵税共）年額1,200円
ホームページ http://izoku-okayama.jp/

靖國神社秋季例大祭
百二十九人の国会議員が
靖國神社に参拝

超党派の国会議員で構成する「みんなで靖國神社に参拝する国会議員の会（会長・古賀誠自民党元幹事長／日本遺族会会長）」は、靖國神社秋季例大祭の期間中である十月十九日の早朝、衆参両院国会議員百二十八人（麻生太郎元総理は別途参拝）がそろって昇殿参拝を行い、社に眠る戦没者ご英霊の冥福をお祈りすると共に感謝の誠を捧げた。

しかし、政府からは国民新党の森田総務政務官が参拝したが、閣僚の参拝は、春季例大祭、終戦記念日に続いて行われなかった。

参拝後、参集所内で行われた記者会見で、靖國参拝と日中関係に関しての質問に、古賀会長は「全く別の問題だ。国のために命を捧げられた御祭神がお祀りされている靖國神社に、私ども国会議員は国を代表しお参りしている。日本固有の精神文化を大事にし、この施設を国会議員が大事にしなければならない。参拝せずして国の主権も国家もない」と述べ、閣僚の参拝が今回も無かったことに「極めて残念だ」と語った。

――・――

靖國神社秋季例大祭期間中の十月十九日に参拝された百二十八人及び別途参拝一人の衆参両院議員は次のとおり。（党派別・敬称略）

議員本人参拝

▼衆議院　四十一人

【自民党】逢沢一郎、秋葉賢也、麻生太郎、伊東良孝、稲田朋美、井上信治、大村秀章、**加藤勝信**、金子恭之、北村茂男、北村誠吾、**古賀誠**、後藤田正純、高市早苗、竹下亘、竹本直一、田野瀬良太、田村憲久、永岡桂子、西野陽、浜田靖一、林幹雄、古屋圭司、山口俊一、山本有二

【民主党】浅野貴博、石山敬貴、大西孝典、木内孝胤、古賀敬章、橘秀徳、長尾敬、中根康浩、萩原仁、早川久美子、向山好一、柳田和己、渡辺義彦

【たちあがれ日本】平沼赳夫、園田博之

【国守会】城内実

▼参議院　二十六人

【自民党】磯崎仁彦、岩城光英、宇都隆史、衛藤晟一、大家敏志、岸信夫、小坂憲次、佐藤信秋、塚田一郎、中曽根弘文、中西裕介、牧野たかお、松山政司、**水落敏栄**、三原じゅんこ、山谷えり子、吉田博美、若林健太

【民主党】金子洋一、外山斎、羽田雄一郎

【みんなの党】江口克彦

【たちあがれ日本】中山恭子

【国民新党】森田高

【無所属・他】大江康弘、**尾辻秀久**

参拝後、記者会見を行う古賀会長と水落事務局長

議員代理参拝

▼衆議院　四十人

【自民党】赤澤亮正、**阿部俊子**、甘利明、石破茂、伊吹文明、今村雅弘、江渡聡徳、江藤拓、遠藤利明、小里泰弘、梶山弘志、金子一義、金田勝年、木村太郎、小池百合子、佐田玄一郎、塩崎恭久、高木毅、武田良太、棚橋泰文、谷川弥一、中川秀直、中谷元、西村康稔、額賀福志郎、野田聖子、平井卓也、福井照、保利耕輔、松本純、茂木敏充、森喜朗、森山裕、山本公一、山本幸三、山本拓

【民主党】川口博、中津川博郷

【無所属・他】衛藤征士郎、中村喜四郎

▼参議院　二十二人

【自民党】青木一彦、有村治子、石井浩郎、上野通子、岡田広、加治屋義人、片山さつき、金子原二郎、佐藤正久、鈴木政二、関口昌一、谷川秀善、野村哲郎、林芳正、松村龍二、山崎正昭、山本一太、山本順三

【たちあがれ日本】片山虎之助、藤井孝男

【国民新党】自見庄三郎

【新党改革】荒井広幸

皇居内濠を望む静かな九段
ご婚礼／宴集会／ご宿泊／お食事／大ホール

※ご遺族様には、特別割引がございます。
●シングル……￥7,140～
●ツイン……￥12,600～（税込）
URL http://www.kudankaikan.or.jp

九段会館
〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-5
☎03(3261)5521
●地下鉄　東西線・新宿線・半蔵門線（九段下駅）徒歩1分
●JR東京駅より（車）5分

戦没者遺児による慰霊友好親善事業
二十周年記念「洋上慰霊」申込締切が間近です

日本遺族会が政府の委託・補助を受け行っている遺児による慰霊友好親善事業は、本年度事業実施二十周年を迎えました。

この節目の年を記念して、通常実施することが困難な海没されたご英霊の洋上慰霊を行うと共に、現地の人々との友好親善を図ることとなりました。

最終申込み締切りが十二月五日と迫っておりますので、該当海域の戦没者遺児で参加ご希望の方は、お早めに県遺族連盟までお申し込み下さい。

実施概要は次のとおり。

▼実施時期

平成二十三年三月五日㈯～十六日㈬十二日間

▼日程等（予定）

日程及び航路図案参照。

(1)洋上慰霊祭　八回

(2)上陸地

＊沖縄県摩文仁、米須等の各県慰霊碑参拝

＊フィリピン・カリラヤにて戦没者追悼式

(3)寄港地

＊台湾・高雄

▼船の概要

国際遠洋級／約二万トン級（日本国籍船）

▼参加資格

戦没者の遺児（但し、長期間の航海・旅程に耐えられる健康状態が良好な方）で次の順位です。

①航海上の該当者で初参加の方。②同上の方で過去に参加した方。③高齢者。※定員に満たない場合は別の海域も認める。

▼参加費

八万円。

為替レートの状況で増額することもあります。

▼募集定員

各県から原則十名以内、合計（全国）約四百名。

▼申込締切

12月5日（日遺最終）

▼参加決定

申込締切後、本部で審査を行い参加者に決定通知を送付します。

その際に、誓約書・除籍謄本・医師の診断書等を提出していただきます。

▼その他

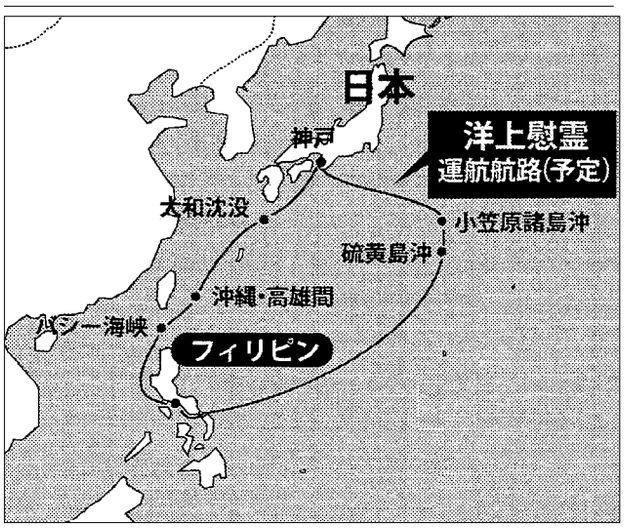
＊集合場所（神戸港）で結団式及び渡航手続き・説明会を行います。

＊集合場所及び解散場所からの交通機関等は各自で手配し、経費は参加者負担となります。

＊実施時期・日程等は相手国の事情や船舶借り上げ等の都合により変更や取り止めとなる場合があります。

日次	月　日	発着地等	日　　程
1	3月5日㈯	神戸（日本）	午後：船内にて受付後、出港結団式及び渡航手続き説明会
2	3月6日㈰	終日航海	枕崎沖、大和沈没地点経由 ①東シナ海洋上慰霊祭
3	3月7日㈪	那覇（日本）	午前：沖縄・那覇港入港上陸後、米須・摩文仁等へ各県の慰霊碑参拝 夕刻：出港
4	3月8日㈫	終日航海	②沖縄、高雄間洋上慰霊祭
5	3月9日㈬	高雄（台湾）	午前：台湾・高雄入港 午後：出港 ③バシー海峡洋上慰霊祭
6	3月10日㈭	終日航海	④ルソン沖洋上慰霊祭
7	3月11日㈮	マニラ（フィリピン）	午前：フィリピン・マニラ入港上陸後、カリラヤにて慰霊祭 夕刻：船内にて友好親善懇談会 夜　：出港
8	3月12日㈯	終日航海	⑤レイテ沖洋上慰霊祭
9	3月13日㈰	終日航海	⑥マリアナ沖方面洋上慰霊祭
10	3月14日㈪	終日航海	⑦硫黄島近海洋上慰霊祭
11	3月15日㈫	終日航海	⑧小笠原諸島近海洋上慰霊祭 夕刻：船内にて懇親会
12	3月16日㈬	神戸（日本）	午後：解団式 夕刻：入港、解散

フィリピン・ルソン島
戦跡慰霊巡拝
日本遺族会主催



日本遺族会主催のフィリピン・ルソン島戦跡慰霊巡拝が、来年二月に実施されます。

今回の慰霊巡拝は、マニラ周辺及びマニラ東方山地などを中心に行いますので、肉親を該当地域で亡くされたご遺族（戦没者の妻、遺児、孫、兄弟姉妹、甥、姪、配偶者など関係遺族）は、是非この機会にご参加いただきます様ご案内申し上げます。

募集要項は次のとおり。

▼巡拝予定地域

ルソン島マニラ周辺、マニラ東方山地、クラーク、コレヒドール島

▼実施期間

平成二十三年二月十一日～二月十七日（東京集合日を含む六泊七日）

▼募集定員

一班編成で二十五人。

※参加希望者が募集定員を超えた場合は本部で選考となります。

▼参加資格

戦没者の遺族（妻、遺児、孫、兄弟姉妹、甥、姪、配偶者など）

▼参加費用

概ね二十万円程度。

注一）参加者の経済的負担の軽減と帰国時の交通の利便を考慮し、出発は成田空港としますが、日本帰国時はマニラから成田空港、中部空港、関西空港、福岡空港の四空港を選択できるよう計画しています。

注二）参加人数、帰着空港等により費用は異なります。また、集合場所となる東京・九段会館までの交通費等は別途個人負担です。

▼申込締切

十二月二十五日（日遺締切）

▼お申込先

岡山県遺族連盟まで。

平成22年度外国地域戦跡慰霊巡拝事業

激戦のペリリュー島など パラオ諸島方面で実施

岡山県遺族連盟

県遺族連盟では毎年、故郷遥か遠い異郷の地で散華された戦没者の苦難の足跡を巡り御霊をお慰めするため、県補助事業により海外の戦跡慰霊巡拝を行っています。

平成二十二年度事業は、当初、東部ニューギニア及びラバウル方面の巡拝を計画しておりましたが、現地治安の悪化によりやむなく中止することに決定いたしました。

このため再度、巡拝地域を検討した結果、来年一月二十四日㈪から二十八日㈮の日程により、岡山空港からグアム経由でコロール、ペリリュー、アンガウル等の島々からなるパラオ諸島の戦跡地を巡ることになりました。

パラオ諸島は、私たちの肉親が更に南方のニューギニア、ソロモン諸島などへ向かうため滞在・出港した島々であり、制空・制海権なき状況ながらも日本軍将兵が死守した玉砕の島々であります。

関係ご遺族は勿論のこと、多くの皆様方の参加をいただき、戦没者の御霊をお慰めし感謝の誠を捧げたいと存じます。

是非、現地慰霊・鎮魂の旅に参加を賜ります様ご案内申し上げます。

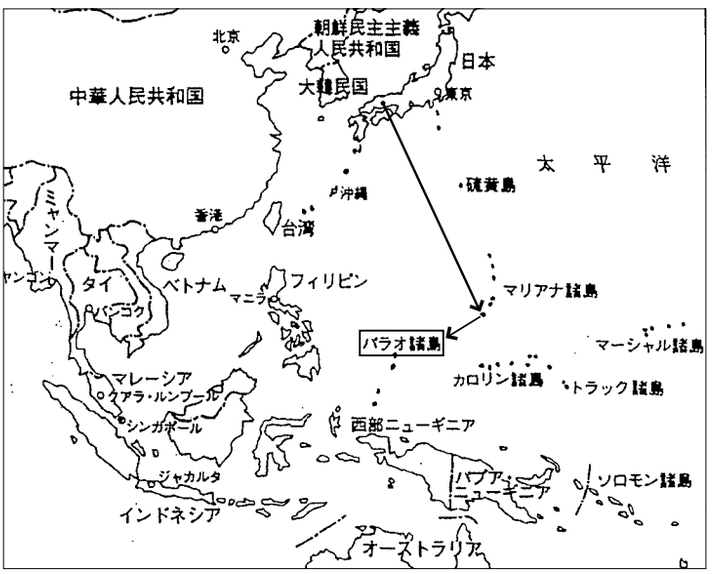
目次	月　日	地　名	時間(現地)	交通機関	行　　程
1	1／24㈪	岡山空港発	11：15	CO-920	岡山空港集合。空路、グアムへ
		グアム着	15：55		
		グアム発	18：50	CO-953	空路、パラオへ
		コロール島着	19：50		入国手続き後、専用車で宿舎へ …コロール島泊
2	1／25㈫	コロール島発	午　前	高速船	船でアンガウル島へ(約1.5～2時間)
		アンガウル島着	午　前	専用車	着後、【アンガウル島慰霊巡拝】
		アンガウル島発	午　後	高速船	船でペリリュー島へ（約30分間）
		ペリリュー島着	夕　刻		･･･ペリリュー島泊
3	1／26㈬	ペリリュー島		専用車	【ペリリュー島慰霊巡拝】 「西太平洋戦没者の碑」にて全戦没者追悼式 現地の学校を訪問
		ペリリュー島発	午　後	高速船	船でコロール島へ（約1.5時間）
		コロール島着	夕　刻		…コロール島泊
4	1／27㈭	コロール島着	終　日	専用車	【コロール島慰霊巡拝】 （出発までホテルで休憩）
5	1／28㈮	コロール島発	2：35	CO-954	空路、ヤップ島経由グアム空港へ
		グアム着	5：30		
		グアム発	7：25	CO-919	空路、岡山空港へ
		岡山空港着	10：15		着後、解散。

◎参加経費　179,000円也（補助対象者の個人負担経費）
※補助対象者は戦没者遺族（但し、戦没者一柱につき１人が補助対象）
上記以外の方は30,000円の追加経費が必要になります。

◎募集人員　25名程度

◎お申込みは　県遺族連盟へ12月22日㈬までに

※上記日程は交通機関の都合により時刻等が変更になる場合があります。



岡山県戦没者遺族代表者大会

11月28日㈰

岡山衛生会館で開催

日本遺族会では、戦没者慰霊追悼の中心である靖國神社への総理・閣僚等の参拝を求めると共に、国立の戦没者追悼施設建設構想の阻止、更には来年度政府予算に対する遺族処遇改善要望事項の完全実現を図るため、来る十二月十六日㈭に全国戦没者遺族大会を開催し、あわせて国会陳情を計画しています。

この日本遺族会の方針に基づき、岡山県遺族連盟においても英霊顕彰並びに処遇改善など各要望事項の周知とその完全実現を図るため、左記により岡山県戦没者遺族代表者大会を開催いたしますので、各遺族連合会にはご協力を賜ります様お願いいたします。

一、開催日時
11月28日㈰10時30分開会（受付開始は９時30分から）

二、開催場所
岡山市中区古京町「岡山衛生会館」三木記念ホール

三、次第
(1)開会
(2)国歌斉唱
(3)英霊に黙祷
(4)県連盟会長挨拶
(5)議長団選出
(6)宣言（案）採択
(7)決議（案）採択
(8)来賓祝辞
(9)祝電披露
(10)靖國神社の歌合唱
(11)万歳三唱
(12)閉会
（概ね12時）

四、参加人員　約七百名
各遺族連合会へ参加割当人員を示します。

親父来たぞー、聞こえるかー

笠岡市新横島
新居　道義

永年の思いが叶い、お父さんが亡くなったサラクサクの地にやっと来ることができました。遅くなりましたことお詫びいたします。

物心ついたときは既に親父は無く、お父さんとの想い出の記憶はありませんが、私や姉を命名し、役場に届けてくれた記録を見るにつけ、親父との繋がりを強く感じます。短い間だったと思いますが、私や姉を抱きかかえたり、膝に乗せたりしてあやしてくれた親父が、どんな思いで戦地に赴いたのか、そのことを思うと胸が痛みます。

お父さんがいない寂しさは、母の愛情や親戚の人たちの支えでまぎらわしてきました。戦後は物も金も無い時代で、母は幼い姉と私を食わすために、まさに身を粉にして働き、私たちを育ててくれました。その母は、これからというときに病魔に倒れ、五十歳の若さで他界しました。苦労、苦労の連続の人生だったと思います。

近況を報告します。姉・節子は、三人の息子と三人の孫に恵まれ、笠岡市富岡の地で元気に暮らしております。そして私は、やさしい妻と二人の息子と四人の孫に恵まれて、笠岡市新横島で恙無く暮らしています。

ふるさと「笠岡」は、笠岡港とその沖が干拓され、工場や学校、商店などが立ち並び、駅前も綺麗に整備され、昔の面影は薄くなっていますが、町は発展をしています。あの大戦で亡くなった多くの方々の犠牲の上に、この発展があることを決して忘れてはならないと思います。

食べ物も飲み水も無く、さぞかし辛かったでしょう、苦しかったでしょう。ふるさとのお母さんや私たち子供、両親を思いながら、戦い、戦禍に散ったことは、さぞかし無念であったと思います。どうか安らかにおやすみ下さい。もし、親父の魂がここにあるのなら、祖国日本へ、生まれ育った笠岡へ、私と一緒に帰りましょう。

平成二十二年十月十日
新居澄夫の遺児

―あとがき―

十月六日から十三日の日程で行われたフィリピン慰霊友好親善訪問に参加させていただき、E班の二十七名の方々と共に、ルソン島北部方面の十二カ所で行われた慰霊祭に臨み、現地の学校も訪問しました。

父の戦死したルソン島ヌエバビスカヤ州のサラクサク峠は、バスでは行けないくらい山深い奥地にあります。ジプニー（ジープの改造車）に乗り換え、凸凹道に揺すぶられながら約一時間二十分、ジプニーで行けるところまで行ったところにある民家の庭先を拝借し、父の慰霊祭を行っていただきました。

サラクサク峠に眠る父に六十五年間の思いを述べるつもりでしたが、しかし言葉にならず。涙、涙の追悼のことばとなりました。

連日三十度を超える気温とハードな旅程でしたが、「親父が亡くなった所に一度は行きたい。行って積年の思いを言いたい」との思いが叶えられ、気持ちに一区切りつきました。

父の慰霊祭の機会を与えて下さいました遺族会の皆様、そして家族の協力に心から感謝いたします。

父の慰霊祭に臨んだ新居さん。後方にサラクサク峠を望む

訃報

安井　隆氏

元岡山県遺族連盟監事
前岡山市南遺族連合会会長

長年、遺族運動並びに会運営にご尽力を賜りました元岡山県遺族連盟監事の安井隆氏が十月二十六日午前、逝去されました。享年九十一歳。

ご生前のご功績に心から感謝申し上げますと共に、謹んでご冥福をお祈りいたします。

遺族会の動き

平成二十二年十月行事表（追加分）

21日　津山市河辺地区遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
28日　美作市大原支部戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　高梁市川面地区戦没者慰霊祭（県護國神社）

平成二十二年十一月行事表

3日　新見市石蟹郷地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　橋本岳再起動の集い（倉敷アイビースクエア）
5日　新見市豊永地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
8日　県連盟正副会長・常任理事合同会議（県連盟会議室）
　　倉敷市倉敷遺族連合会研修旅行（和歌山県方面）一泊
10日　新見市遺族連合会靖國神社参拝（茨城・栃木県方面）二泊
11日　瀬戸内市戦没者追悼式（瀬戸内市保健福祉C）
13日　加賀郡吉備中央町吉川地区遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
12日　「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝（沖縄県）二泊
15日　浅口市金光支部遺族会護國神社正式参拝（県護國神社）
16日　井原市遺族連合会研修会（真備町・マービーふれあいC）
　　加賀郡吉備中央町加茂川地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
20日　笠岡市白石島地区戦没者慰霊祭（開龍寺）
22日　浅口市郡遺族連合会女性部研修会（鴨方町内）
27日　加賀郡吉備中央町大和地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
28日　岡山県戦没者遺族代表者大会（岡山衛生会館）

平成二十二年十二月行事表

1日　岡山市雄神地区戦没者慰霊祭（県護國神社）
　　厚生労働大臣表彰受賞式（厚生労働省）
　　厚生労働大臣表彰受賞祝賀会（九段会館）
4日　岡山市御津遺族会靖國神社参拝（東京方面）二泊
15日　尾辻議員参議院副議長就任並びに水落議員当選祝賀会（九段会館）
16日　全国戦没者遺族大会（九段会館ホール）
　　国会陳情